

委員会報告 見る・聞く・動く

町の農業振興施策と 公共施設の調査

(総務産業常任委員会)

7月30日。6月オープン
のJAさいかつ「松伏ふれあい直売所」では、「カット野菜工場は今年か春先までに町内にできる予定」、「直売所を通して学校給食に提供できれば」などの考えを聞きました。築比地の「イオンアグリ創造(株)埼玉松伏農場」では、「連作障害」や「場所により遺跡が出るので50cm以上は掘れない」などの状況説明もありました。

公共施設5箇所を視察しました。「施設の名称」を利用実態にふさわしく見直す、あるいは通称をつけるには「補助を受けている国との調整が必要になる」との説明がありました。



多くの児童を呼び込む 「小規模特認校制度」

(文教民生常任委員会)

指定された学校だけ、市内に住んでる児童ならば誰でも入学できる。そんなユニークな宇都宮市立城山西小学校の取り組みを7月16日に視察しました。



同小学校では、児童に選んでもらうために、英会話が身につく「会話科」の設置。一流の外部講師による自然や伝統の教育。児童の個性を伸ばす放課後活動を充実させています。現在63人がこの制度で通学し、全児童数は93人になっています。スクールバスが無くても、親が20kmの道のりを送り迎えしても通わせている学校でした。